

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-540	21-310	慶應義塾大学 加藤眞三
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Natural Compounds: A Potential Treatment for Alcoholic Liver Disease? 天然化合物。アルコール性肝疾患の治療薬としての可能性?		
<b>執筆者</b>		
Junbin Yan <sup>1,2</sup> , Yunmeng Nie <sup>1</sup> , Minmin Luo <sup>1,2</sup> , Zhiyun Chen <sup>1,2</sup> , Beihui He <sup>1,2</sup>		
<b>掲載誌</b>		
Front Pharmacol. 2021 Jul 5;12:694475. doi: 10.3389		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール性肝障害、アポトーシス、オートファジー、炎症性経路、天然化合物、酸化ストレス		34290612
<b>要 旨</b>		
<p>アルコールの過剰摂取は、アルコール性肝障害 (ALD) の直接的な原因となる。ALD は通常、初期には脂肪肝として現れ、その後、アルコール性肝炎 (ASH)、線維化、肝硬変へと進展する。重度のアルコール依存症は、広範な肝細胞死、肝不全、さらには肝細胞癌 (HCC) を誘発する。現在、ALD を治療するための有効な臨床手段は、禁酒を除いてほとんどない。天然化合物は、明確な化学構造を持つハーブから抽出された化合物の一種である。シリマリン、ケルセチン、ヘスペリジン、ベルベリンなどいくつかの天然化合物は、副作用なく ALD を治癒する効果があることが示されている。本総説では、特に天然化合物に注目し、天然化合物を用いた ALD の臨床薬の開発を行い、ALD の治療法として提供することを期待する。</p>		